

文化

神々の座、ヒマラヤ。民主社会へと移行中であ 伐、自然保護活動の停滞 「今」が見えてくる。

チヨランマ(エベレス ト)を初め名だたる巨峰 増加に伴う森林破壊も深 る。ヒマラヤ地域の人口 がそれに輪をかけて。さ して、私が代表を務め るヒマラヤ・アークアイ 連調査隊がネパールなど チベットを知らずに育っ て。三つの八千峰を 抱く広大な山脈だ。世 刻だ。政情不安や法の不 人権・宗教問題など、ヒ ・シャバンは、オランダ で実施した地球温暖化の た若者はいかにしてアイ わずか二ヶ月の間に登頂 する世界初の挑戦は果た して成功するのか。彼が 死の領域と呼ばれる世 界で見たものは…。

そのほか、カナダ人青 年とチベット僧との交流 を描いた「チベットの髯 僧」、ネパールの首都カ トマンズで十二年に一度 繰り広げられる祭りの記 録「神の車」など、いず れも見逃せない。

あなたは、「ヒマラヤ」 で何を感じるだろうか。 田中 邦彦

二十一世紀の今、ヒマ ラヤは現代社会が直面す る地球温暖化、民主化、 環境保全、平和共存など さまざまな課題を「鏡」 のように映し出す。温暖 化により年平均七十度と いう速さでヒマラヤの水 河が解け出している。そ の被害、影響は地元のみ ならず、今後アジアの広 範囲に及んでいく。

長らく国王が統治して いた世界最貧国のプータ ン、ネパールでは民族の あつれぎや内戦を経て、 グローバル化の波の中で

ヒマラヤ7作品上映

世界の頂点 「今」映し

温暖化、民主化、平和共存

自然と人間営み刻む

「メルトタウン・氷河の苦悩と闘いを描写した アルピニストの軌跡を描 いた「死の領域」を起え て。三つの八千峰を 抱く広大な山脈だ。世 刻だ。政情不安や法の不 人権・宗教問題など、ヒ ・シャバンは、オランダ で実施した地球温暖化の た若者はいかにしてアイ わずか二ヶ月の間に登頂 する世界初の挑戦は果た して成功するのか。彼が 死の領域と呼ばれる世 界で見たものは…。

そのほか、カナダ人青 年とチベット僧との交流 を描いた「チベットの髯 僧」、ネパールの首都カ トマンズで十二年に一度 繰り広げられる祭りの記 録「神の車」など、いず れも見逃せない。

あなたは、「ヒマラヤ」 で何を感じるだろうか。 田中 邦彦

「人は時に 残酷な



「冒頭のクライマー」のシーン

■ヒマラヤ国際映画祭プロジ ェクトの公式サイトは<http://www.himalaya-japan.net>

■7作品は23、24日、新潟市 古町道5の国際映像メディア専 門学校で上映。24日には同校で

田中邦彦氏と在日チベット難民 のテンジン・タシ氏によるトー クセッションも行われる。問い 合わせは新潟市国際交流協会、 025(225)2727。

人物点描

ノワール(暗黒)小説の第 しみや憎しみを描く。 一人者、馳星周さん。悪と暴 力が充満する裏社会を硬質な 文体で書いてきたが、今冬の 直木賞候補にもなった短編集 「約束の地

作家馳 星周さん

社)では、寂れた地方の町に は、約二十年ぶりに帰った故 郷の姿だった。「あまりに変 わってなくて、ほおをなぐ

物語の舞台は出身地でもあ る北海道。アルツハイマー病 変化から完全に取り残されて の母の介護に明け暮れる女 いる地域や、そこで暮らす 性、スクーターで「世界の終 人々を書きたくなくなったん だ」を探す少年ら、希望の 見えぬ日々を送る人々の悲 絶望を胸に抱いて生きる登

